

メキシコ株ファンド

メキシコの中長期的な成長から恩恵を受けるメキシコ株式市場

2017年7月14日

お伝えしたいポイント

- ・ 構造改革や人口動態がメキシコ経済の長期的な成長を支える
- ・ 魅力的な水準で取引されているメキシコ株式市場とメキシコ・ペソ
- ・ 中長期の経済成長やバリュエーションに注目したアクティブ運用

<構造改革や人口動態がメキシコ経済の長期的な成長を支える>

メキシコ政府は潜在成長率を押し上げるため、構造改革に取り組んでいます。中でも重要なエネルギー改革は徐々に成果がみられており、これまでに行われた合計5回の油田入札には国内外から多くの民間企業が参加するなど、メキシコのエネルギー産業はさらなる発展が期待されます。CNH（国家炭化水素委員会）はこれまで落札された48の鉱区により合計495億ドルもの投資が生み出されると予想しています。

また、メキシコの魅力的な人口動態も見逃せません。メキシコの労働力人口は今後2040年代に向けて成長が続くと予想されており、長期的な経済成長を下支えすることが期待されます。ブラジルやチリなどの他の中南米主要国や中国と比較しても、メキシコの労働力人口の伸びは高い水準が見込まれます。

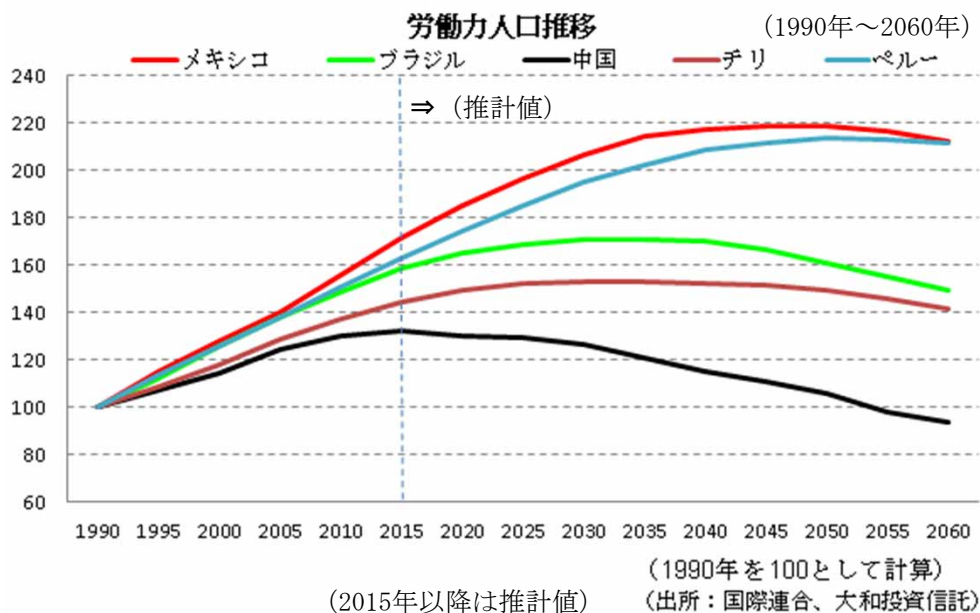
当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

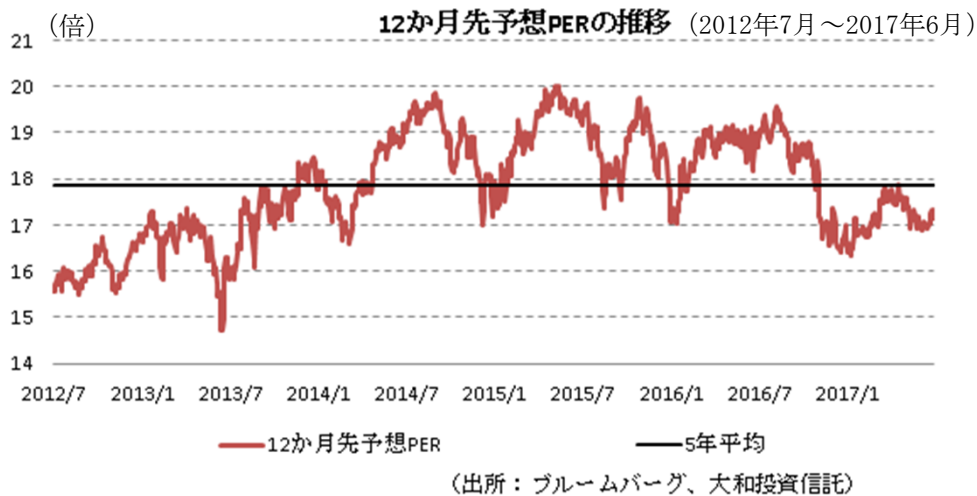
Daiwa Asset Management



<魅力的な水準で取引されているメキシコ株式市場とメキシコ・ペソ>

メキシコの代表的な指数であるメキシコ・ボルサ指数は史上最高値圏で推移しています。株価上昇は良好なマクロ経済見通しや業績拡大に支えられています。代表的なバリュエーション指標である予想PER（12カ月先の1株当たり純利益予想に基づいた株価収益率）でみた場合、ボルサ指数は過去5年の平均をやや下回る水準で取引されており、割高感はないと考えられます。





為替（メキシコ・ペソ）の水準にも過熱感はありません。メキシコの歳入は原油への依存度が高いため、2015年以降の原油価格下落に伴い、ペソは大きく売られました。また、2016年11月の米国大統領選後は、トランプ政権の保護貿易主義的政策への懸念から一段安となりました。その後、トランプ政権への懸念が緩和されるにつれてペソは反発していますが、原油価格が急落する以前の水準と比較すると割安な水準にあります。



＜中長期の経済成長やバリュエーションに注目したアクティブ運用＞

当ファンドは、アクティブ運用の強みを生かし、メキシコの中長期的な経済成長による業績拡大が見込まれる企業や、割安なバリュエーションで取引されている企業に着目して投資を行っています。また、大型株だけでなく、投資家の注目が集まりづらく実態以上に割安に取引されていることも多い中小型株にも注目して投資を行っています。

一例として、割安と判断している銀行株への投資が挙げられます。メキシコでは銀行貸出の普及が遅れており、民間向け銀行貸出残高を対GDP（国内総生産）比率でみた場合には他のラテンアメリカ諸国と比較しても低い水準にあるため、銀行貸出の中長期的な成長余地は大きいとみられています。貸出の伸びに加え、メキシコ銀行（中央銀行）の利上げによる追い風を受けて利ざやが拡大していますので、足元の業績動向も好調です。このような良好な業績見通しに関わらず、複数の銀行株が割高感のないバリュエーションで取引されています。当ファンドでこれらの銘柄の組入比率を高めた結果、2017年6月末時点で銀行などを含む金融セクターの組入比率が高くなっています。

今後も良好なパフォーマンスを目指し、個別企業の業績見通しや株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ってまいります。

＜基準価額・純資産の推移＞

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2017年7月11日現在

基準価額	10,023 円
純資産総額	174百万円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+8.8 %
3カ月間	+10.6 %
6カ月間	+35.0 %
1年間	+25.0 %
3年間	-----
5年間	-----
年初来	+24.2 %
設定来	+0.2 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

メキシコ株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- メキシコの株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. メキシコの株式等に投資します。
 - ◆メキシコの株式等には、DR（預託証券）、リート（不動産投資信託）および株価指数を対象指数としたETFを含みます。また、メキシコから売上または利益の大半を得ていると判断する企業の株式に投資する場合があります。
 - ◆運用にあたっては、以下の方針を基本とします。
 - ・時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。
 - ・投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。
 - ・株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。
 2. メキシコの株式等の運用は、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドが行ないます。
 3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - ・マザーファンドは、「メキシコ株マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、リートの価格変動）」、「中小型株式への投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

メキシコ株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限>3.24%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.782% (税抜 1.65%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等
加入協会

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

メキシコ株ファンド 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
リテラ・クレア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。